

住みたい 美しいまち

つくるため

べき方向性として平成22年で、市民のくらしの充実をて生活する場のことです。源を効果的・効率的に運用



歳入(収入)

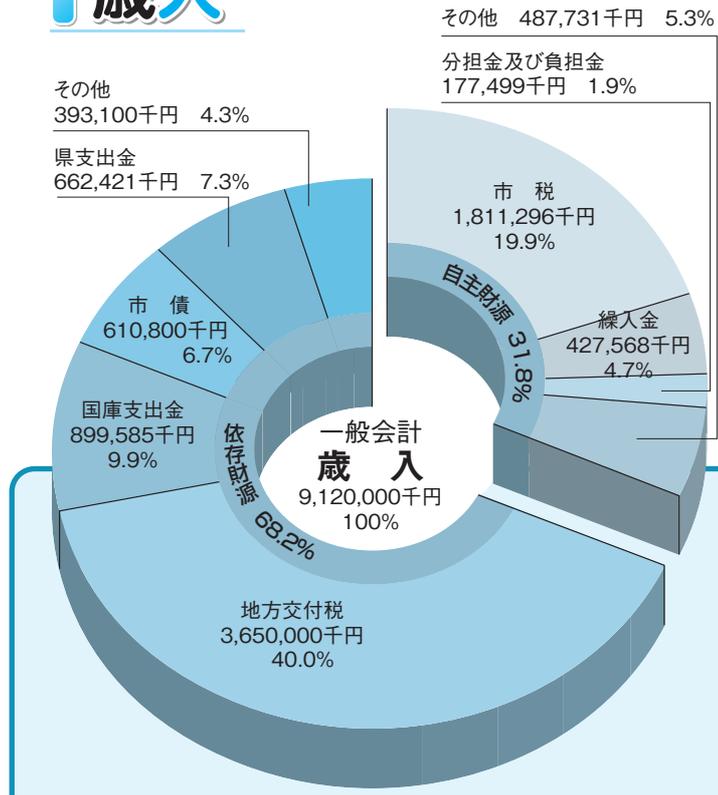
歳入には自主財源(市が自主的に収入できるお金)と依存財源(国や県から交付されるお金や借金)があります。

本年度の自主財源の割合は約32%となっています。つまり100万円の仕事をする場合、手持ちのお金は32万円で、不足の68万円は、国や県からの補助金などに頼るか借金をしなければならないということです。

歳入の基本となる市税は18億1,129万6千円で、前年度に比べて8千895万円(4.7%)の減となっています。

一方で依存財源である地方交付税は前年度と同額、国庫支出金は6千299万7千円(7.5%)の増、県支出金は2千794万4千円(4.4%)の増となっています。

歳入



市税の内訳

(単位:千円)

税目名	予算額	前年対比
●市民税	720,542	-5.8%
個人分	625,907	-1.6%
法人分	94,635	-26.6%
●固定資産税	912,870	-6.0%
土地	287,442	-3.1%
家屋	452,278	-9.7%
償却資産	153,694	+0.3%
交付金	5,409	+1.9%
その他	14,047	-1.3%
●軽自動車税	56,824	+3.9%
●市たばこ税	121,058	+9.7%
●入湯税	2	±0%
合計	1,811,296	-4.7%

予算の用語(歳入)

市税

市民のみなさんから納めていただいている税金で、市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、特別土地保有税、入湯税などがあります。

繰入金

市の貯金(基金)を下ろしたお金や、一般会計と特別会計など会計間における現金の移動のことです。

分担金及び負担金

市が行う特定の事業によつて、特定の利益を受ける人がいる場合、その人からいただくお金で、事業の必要な経費に充てます。

国庫支出金

市が行う事業に対して、国が市に支払うお金のことです。市の借金のことです。原則的に市の事業は、市債以外の収入で行いますが、多額の資金を必要とする事業や、将来の市民にも経費を払ってもらうことが公平と考えられる場合に市債を利用します。

県支出金

市が行う事業に対して、県が市に支払うお金のことです。

その他

その他の中には、地方消費税交付金、地方譲与税、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、利子割交付金、諸収入、使用料及び手数料、財産収入、地方特例交付金などが含まれています。